

## 1810 | 卒業制作

6単位（通信授業4単位、面接授業2単位）

三浦明範教授、長沢秀之教授、赤塚祐二教授、遠藤彰子教授、袴田京太郎教授、水上泰財教授、樺山祐和教授、丸山直文教授、小林孝亘教授、阿部英幸講師、伊藤仁講師、大家泰仁講師、加藤健二講師、金子善明講師、佐々木敏講師、清水健太郎講師、瀬島匠講師、松村繁講師、山本明比古講師、吉川民仁講師

## 授業の概要と目標

卒業制作は通信教育課程での基礎的な造形学習の総まとめであると同時に、卒業後の創造活動を方向付けるスタート地点でもある。そのためにも結果を恐れず、それまでの学習体験を活かし、各々の資質にあった表現に向けての、精一杯悔いのない制作が望まれる。また、デッサンやエスキース等を積み重ねながら、テーマを絞り込み、それを画面にどのように組み立てて行くか、しっかりと手順を踏んで制作することも大切である。

## 課題の概要

自主制作2点を制作する。通信授業、面接授業通しての同一課題。作品は卒業制作展で展示。支持体は自由で、サイズは80～100号。壁面に取り付け可能で、厚さ15cm以内とする。描画材は油彩等、その他自由。

## 授業計画

## [通信授業]

学習指導書『絵画Ⅵ・Ⅶ／卒業制作 平成29年度』の「卒業制作」、教科書『絵画—素材・技法—』『絵画—アートとは何か—』『複合的表現—絵画からの展開—』を参照し、制作を進める。

## [面接授業]

卒業制作における中間指導として、制作途中の作品を基にした指導を中心に、エスキース指導、制作工程計画、技術的問題、各種絵画的対処法等の指導を受けながらの制作。

- |     |       |             |             |
|-----|-------|-------------|-------------|
| ・前半 | 第1～2日 | 午前：制作及び中間指導 | 午後：制作及び中間指導 |
| ・後半 | 第3～4日 | 午前：制作及び中間指導 | 午後：制作及び中間指導 |

## 成績評価の方法

卒業制作提出作品、面接授業、講評の総合評価とする。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] 以下のすべての条件を満たすこと。

- ・絵画コースに在籍していること。
- ・絵画コース3年次必修科目をすべて修得していること（『学生ハンドブック』p.049の特例を除く）。
- ・「絵画Ⅵ」、「絵画Ⅶ」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備考] 油絵学科絵画コース4年次必修科目。

## 教材等

教科書：『絵画—素材・技法—』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

『絵画—アートとは何か—』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

『複合的表現—絵画からの展開—』（武蔵野美術大学出版局 2005年）

学習指導書：『絵画Ⅵ・Ⅶ／卒業制作 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）